

“面積は小さくても、良い物を届けたい！！”



永野 祥子（臼杵市）
令和4年就農
ピーマン、里芋ほか



就農のきっかけと現在の取組

大分市出身で、農業とは無縁の家庭で育ちましたが、ガーデニングや土いじりが昔から好きでした。

6年半前に知り合いのピーマン農家を手伝ったことがきっかけで、農作業に興味を持ち、パートから正社員を経て、独立就農を目指し、ファーマーズスクールで1年間研修を受けました。今年で就農3年目です。

初めは、農業の専門用語やハウスの建て方、灌水の方法など、研修では習わなかった農業の初歩に戸惑うことも多々ありましたが、周りの方々の助けを借りながら現在に至っています。

就農1年目は近隣のほ場からアザミウマが飛来し、黄化エソ病が発生、2割の苗を廃棄しました。

ピーマン栽培は、適正な使用方法であるものの当たり前のように化学肥料や農薬を使用するので、自分もかなり薬剤を吸っていることに疑問を持ち、減農薬や有機栽培に興味を持ちました。

今年は従来通りの栽培を行うほ場と、作物残渣とうすき夢堆肥※や土壌改良材を混ぜ込んだ土づくりのほ場とで、品質や収量がどうなるか実験しています。

※「うすき夢堆肥」臼杵市土づくりセンターが生産する、草木類を主原料とした完熟たい肥

おひさまFARM(@ohisa_mafarm) • Instagram写真と動画

今後の展望と皆さんへ一言

収穫期はパートを雇うので人件費の割合が高くなるため、今後は一人で作業できる範囲にして、有機栽培に切り替えたいと考えています。面積は小さくても、良い物を高く売れる生産に変えたいです。

農業女子PJに登録し、県内のメンバーとディリーヤマザキ大分曲店での販売も始まりました。ぜひお立ち寄りください♪



令和6年6月作成

大分県拠点HP みどり戦略「タイアップ販売」

消費者にとって身近なコンビニで、大分県内農業女子PJメンバーの生産物を販売することで、幅広い世代に「環境にやさしい持続可能な消費」を意識するきっかけづくりの場としてもらうことを目指しています。

大分県拠点HP
「タイアップ販売」

